

明治乳業差別事件

# 企業犯罪の数々

# 労働委員会審問で暴露される

明治乳業差別事件は正「全国事件」の都勞委審問は現在、審理なかばですがすでに明治乳業が労組（支部）変節、申立人らを排除・差別した事実が次々と明らかになっています。

明治乳業は、人権否定の企業犯罪を真摯に受け止め、一刻も早い争議解決を決断するべきです。

先般、都勞委審問では、現在、明治乳業会長の任にある中山悠氏がかつて自ら手を下した悪事の数かずが暴露されました。

中山氏は、福岡工場で働く後藤申立人を博多の繁華街・中洲に呼び出し「会社の詮衡試験をうけよ」などと転向工作を行い、後藤さんが断ると定年退職まで差別が続きました。

また、昭和四十年代、愛知工場で合格して職制に登用された労組活動家に、申立人らの行動をスペイして報告することを命じました。

こうした過去を持つ人間が、いま明治乳業の会長職にあるのです。明治乳業の不当労働行為・労働者イジメの元凶が、ここにあるといえます。

三大メガバンクの一つ「みずほ銀行」は、第一勧業銀行の時代から明治乳業の筆頭株主でした。また、統合相手の明治製菓や新生・明治ホールディングスの筆頭株主でもあります。このように大きく関わる、みずほ銀行には明治乳業の長期争議を解決させる社会的責務があります。



みずほ銀行本店前宣伝行動

# 求められる みずほ銀行の決断

現・中山悠会長  
スペイ強要・転向工作・  
自ら